

# 出前講座 報告書

開催日時	平成27年7月17日(金) 15時00分～16時50分		
開催場所	伊賀市議会第1委員会室		
申請団体等名称	伊賀NPO情報交歓会		
テーマ	(1) 市民活動団体との協働や支援について (2) 地域の女子力について		
委員会名等	総務常任委員会		
出席議員	中井洸一(委員長)、福田香織(副委員長)、福岡正康、森川 徹、		
	近森正利、前田孝也、安本美栄子、中岡久徳	記録者	福田香織

## 【講座・意見交換等の内容】

### ○各NPO法人の活動概要報告

- ・出席団体より、それぞれ事業、活動概要の報告。

### ○各NPO団体の活動を取り巻く環境・情勢等

- ・女性や子どもの貧困の問題には、少なからず家庭内暴力が関係している。貧困から無年金者が増加し、最終的には子ども達の教育格差を生じさせることになる。
- ・伊賀市在住の外国人の中には、日本語しか話せず親子で会話が出来ない家庭があったり、日本語も母国語も中途半端で日本社会に適応できないダブルリミテッドと言われる問題もある。
- ・NPO法人は専門性を持ったボランティア団体であるが、無償でやっていると誤解されることが多く、理解を得るのに苦慮している。

### ○課題・要望等

- ・配食事業について伊賀一帯の提供条件ではなく、地域限定でできるようにして欲しい。
- ・デートDV問題について、人権教育の中に取り入れて欲しい。また、年代に応じた継続的な相談事業や土日など休日の相談、男性に対する相談窓口を整備して欲しい。
- ・他の市民活動団体の活動内容について、情報整備をして欲しい。また、市民活動支援センターを充実させ、横の連携(団体同士が持っているものを繋ぎ合えるような)が取れる支援の仕組みを作って欲しい。
- ・NPOの現状を市職員や議員にもっと知って欲しい。また、市民にもNPOの活動を理解いただけるよう協力して欲しい。
- ・外国人に対して、まず情報不足を解消し、安心して暮らせるよう支援する仲間づくりのための協力をして欲しい。
- ・各分野のNPO団体と地域や行政とを繋ぐ役割を議員に担って欲しい。
- ・NPO団体がもっと専門性を持って地域に貢献できるよう、情報提供に加え、NPOを支援するNPO(中間支援)がうまく機能するよう支援して欲しい。

## ○今後の女性の活躍について

- ・小さい頃からの積み重ねで色んなところで男性として、女性としての価値観が身についてしまう。子ども達がそういう価値観の中で育つことに問題がある。子ども達にお互いを尊重できる教育を小さい時から考えていく必要がある。
- ・地域性もあるが、自治協などは男性が多く女性が入り込みにくい雰囲気がある。自分の思いや気持ちなどを語れる場を地域の中で作っていくことも必要。
- ・NPOは専門性をもったボランティア団体であるがゆえ、十分な労働の対価が得られないことがある。子育て世代の父親であれば妻子を養うに十分な給料が得られない現状がある。

伊賀市議会議長 様

平成27年7月31日

伊賀市議会申し合わせ事項7-4(2)の規定により提出します。

総務常任委員長 中井 洸一